

(増刊) 牛群検定通信 No.2

こんにちは！家畜改良事業団です。
前回から、社団法人全国開拓振興協会様のご協力を得て、「開拓情報」に連載中の「新牛群検定成績表の実践活用法」をお届けしております。

■繁殖台帳Webシステムのプロモーションビデオ堂々完成！

かねてからご案内しております「繁殖台帳Webシステム」のプロモーションビデオ全8編が完成し当団ホームページ (<http://liaj.lin.gr.jp/>) に掲載しました。プロモーションビデオは、単に操作説明だけでなく、簡単な利活用法にまで触れた内容の濃いものに仕上がっています。すでに利用開始された方も、是非一度ご覧になって下さい。また、疑似体験版や導入にあたってのQ & Aなどもあわせて掲載されております。

入門編 1	(3分16秒)	ログインから牛群検定データの呼び出しまで
入門編 2	(5分40秒)	繁殖カレンダー
入門編 3	(3分31秒)	繁殖疾病台帳
入門編 4	(4分08秒)	実空胎日数グラフ
入門編 5	(5分41秒)	乳量乳成分
入門編 6	(4分29秒)	体細胞グラフィック
応用編 1	(6分57秒)	繁殖疾病台帳 (データ入力)
応用編 2	(8分31秒)	携帯電話

繁殖台帳Webシステムは、牛群検定を実施している農家や検定組合が無料で利用できる画期的システムです。牛群検定成績をデータ入力することなしに、パソコンや携帯電話で利用することができます。例えば牛舎で作業中でも、「あれ？この牛はそろそろ乾乳だったかな？」と気になったら、ポケットにいられたる携帯電話でピッピッと操作するだけで、直ぐに調べることができます。

■好評連載中！

牛群検定成績の利活用方法を以下のとおり連載しています。あわせてご覧下さい。

- 1 タイトル 新牛群検定成績表の実践活用法
「開拓情報 (全国開拓振興協会)」平成22年11月号から、好評連載中！
<http://www.kaitakusya.or.jp/>
- 2 タイトル 今日も明日も牛群検定が約束するあなたの酪農経営
「Dairy Japan (デーリイジャパン社)」
平成23年1月号から、好評連載中！
- 3 タイトル 新しい検定成績表
「LIAJニュース (家畜改良事業団)」平成21年3月号から、好評連載中！
最新刊の入手については、最寄りの種雄牛センターまたは事業所にお問い合わせ下さい。バックナンバーは当団ホームページをご参照下さい。
<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html>

データ活かして酪農経営の安定を **実践**

新 牛群検定成績表の活用法 ²

(社)家畜改良事業団 電子計算センター
電算課課長 相原光夫



はじめに

牛群検定の機能には、
①飼養(健康)管理、②繁殖管理、③乳質、衛生管理、④遺伝的改良の4機能があることは、前回紹介しました。今回はそのうち、飼養(健康)管理にかかわる部分として、除籍理由の見方を取り上げます。
周産期病などをしっかりチェックできるように除籍理由コードを変更して、早くも1年が経過しようとしています。皆さんの検定成績表の「年間追加除籍牛(下図)」には除籍理由別にきちんと頭数が入っていますか(新しい除籍理由コードに移行してまだ1年が経過していないため、下図の「1産

除籍理由成績の活用

の疾病計」のように疾病の内訳と計が合っていない場合があります)。

新しい除籍理由コードの適用事例を上表に示しました。皆さんはこの適用事例に従い、立会時にしっかりと検定員に除籍理由を伝えてください(詳細については、家畜改良事業団ホームページ<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html>をご覧ください)。

除籍理由別チェックポイント

検定成績表でカウントが大きい除籍理由が、農家のウィークポイントになります。下図の例では、この1年で除

ある検定農家の成績表(検定日2010年11月25日)

年間追加除籍牛	追加		除 籍										
	頭数	追加比率	乳器障害(乳房炎)	繁殖障害	肢蹄故障	消化器病	起立不能	疾病計	低能力	死亡	乳用売却	計(平均)	除籍率
未經産	頭	%	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	%
1産	2	7	()					1				1	3
2産			()		1			1				1	3
3産以上			()	4				1				5	17
除籍までの年齢(歳一月)	()		7-10	3-3				5-11				(7-0)	
除籍日までの分娩後日数	()		465	190				723				(576)	

③乳器障害：乳房炎での除籍が少なく、乳器障害での除籍が多い場合に考えられるのは、乳頭の損傷がその中心となります。飼養管理上の主なチェックポイントは次の通りです。

- 適切な削蹄を行っていますか。
- 場合によりサブヒールを装着していますか。
- 適切な牛床面積ですか。
- 滑り防止対策を行っていますか。
- 牛体、乳房は清潔ですか。
- 過搾乳になっていませんか。
- 真空ポンプの真空圧と排気量は正常ですか。

④繁殖障害：繁殖障害の症状および原因は極めて多岐に渡り、そのチェックすべき項目も多数あります。繁殖障害対策は、検定成績上の様々なところから管理することができますが、ここでは一般的な飼養管理上のことを記し、詳細な対策は追って紹介します。

- 栄養バランスは適正ですか。
- 授精時期のMUNと乳蛋白質率は適切ですか(一般的な目安はMUN 8~16mg/dl、乳蛋白質率3.2~3.4%)。
- ボディコンディション(過肥、削瘦)の観察は充分ですか。

⑤肢蹄の故障：肢蹄の故障は、広く運動器と考えると結構ですが、多いのは蹄関連のトラブルになります。蹄関連だけでも色々な症状があり原因は多岐に渡ります。

- 適切な削蹄を行っていますか。
- 適切な牛床面積ですか。
- 滑り防止対策を行っていますか→滑走は、骨折や脱臼の原因になります。
- 栄養バランスは適正ですか→濃厚飼料多給の場合、蹄葉炎を発症しやすくなります。蹄葉炎は蹄底潰瘍、蹄球びらの原因にもなります。
- 放牧場、運動場の管理(小石や切り株、泥濘化など)は適切ですか→不適切な放牧管理は趾間腐乱、蹄球炎など、さまざまな蹄病の原因になります。
- 消化器病：周産期病の代表的疾患です。多くは栄養バランスによります。
- 粗飼料を充分に与えていますか→不

新	旧	具体的な適用例
①乳用売却(酪農家へ転出)	乳用売却	売却先でも搾乳されることを期待される牛の売却による除籍(個体販売)、搾乳施設の不足などにより健康な牛を売却した場合を含む
②乳房炎	乳器障害	乳房炎、体細胞数の高い牛の淘汰
③乳房炎以外の乳器障害		乳器損傷、乳房浮腫などによる淘汰
④繁殖障害	繁殖障害売却	卵巣のう腫、胎盤停滞、子宮内膜炎、双子分娩などにより、結果として受胎しない牛の淘汰
⑤肢蹄の故障(運動器病)	疾病等で売却	骨折、脱臼、蹄葉炎、蹄底潰瘍、蹄球びらん、趾間腐乱、蹄球炎などによる牛の淘汰
⑥消化器病		第四胃変位、ルーメンアシドーシス、鼓脹症、ケトosisなどによる淘汰
⑦起立不能		乳熱、低カルシウム血症、ダウンナーなどによる淘汰、分娩時以外の起立不能も含む
⑧低能力	低能力で売却	低乳量、低乳成分による淘汰、悪癖を持つ牛や気性の荒い牛の淘汰を含む
⑨死亡	斃死	突然死、選択肢のない疾病(伝染病、遺伝病、寄生虫、白血病など)によりと畜処分した牛を含む
—	その他	※「その他」による除籍理由の報告は廃止

籍された7頭のうち実に4頭までが繁殖障害で淘汰されており、この農家の弱点は、繁殖障害にあることがわかります。

以下にそれぞれの除籍理由が多かった場合に何をチェックするか具体的な対策を紹介します。☐をチェックしてみましょう。

①乳用売却：牛の個体販売がされていますので、多く頭数が表示される農家は、プリーダー的に経営をしている農家です。飼養管理上はとくに問題はありません。

②乳房炎：従来、乳器障害でひとくくりでしたが、今回の変更で乳器障害の内訳を表示しています。乳房炎が除籍理由に多い場合、搾乳手順などをチェックする必要があります。

- 牛体、乳房は清潔ですか。
- ゴム手袋を使用し搾乳していますか。

前搾りを割愛していませんか。
前搾り乳を床に捨てていませんか。

搾乳前の乳頭清拭はきちんとしていますか。

ペーパータオルや固く絞ったタオル(1頭1布)でミルカー装着前に乳頭を乾燥させていますか。

前搾りから遅滞なく(1分~1分30秒)ミルカー装着していますか。

真空ポンプの真空圧と排気量は正常ですか。

マシンストリップピングは行っていませんか。

搾乳時間は5分程度(オキシトシン効果)で終了していますか。

ティートカップの離脱は4本同時に行っていますか。

ポストティッピングは確実に実施し、必要に応じてプレティッピングを行っていますか。

原因となります。

乾乳期に過肥状態、運動不足ではありませんか。

乱暴な助産をしていませんか→神経麻痺や股関節脱臼など分娩後起立不能(ダウンナー)を引き起こすことがあります。

⑧低能力：乳量や乳成分が低い牛などを駄牛淘汰した場合の除籍理由です。蹴るなどの悪癖をもった牛や気質の荒い管理困難な牛を淘汰した場合であっても、本項目の対象です。

⑨死亡：従来は「斃死」としていましたが、新しい除籍理由では、除籍理由に無い疾病で回復を断念して牛を淘汰した場合も含むこととし、意味を広くして「死亡」と標記しました。

伝染病、遺伝病、寄生虫、白血病などの対策を行っていますか。

最後に

除籍理由は極めて単純な成績ですが、きちんと報告されていれば牛群内で多く発生する周産期病を把握し、健康管理を改善できるもっとも手っ取り早い検定成績です。もっともっと、牛群検定成績を活用しましょう。

ウィークポイントが一目瞭然

除籍理由に合った周産期病対策を

足は第四胃変位の原因になります。

濃厚飼料を多給していませんか→ルーメンアシドーシス、鼓脹症などの原因になります。

低品位(酪酸発酵やカビの生えた)サイレージを与えていませんか→ケトosisや下痢の原因になります。栄養状態を管理する方法は、各牛の乳成分、MUNを利用する方法が有効です。追って紹介予定です。

⑦起立不能：分娩前後の移行期(分娩前後2~3週間)、なかでも乾乳後期に当たるクローズアップ期(分娩前2~3週間)の管理を失敗すると発症しやすくなります。

クローズアップ期の栄養管理は適切ですか→適正なBCS管理、濃厚飼料馴致または増飼、適正な蛋白飼料給与、カルシウムの制限給与等。これらを怠ると乳熱(低カルシウム血症)の